



「感動」を心の栄養に

副校長 高橋 雄一

来週から、いよいよ2月。比較のお天気に恵まれています、気温が低く、まだまだ肌寒い日が続いています。

先日は、学校運営に関するアンケートへのご回答ありがとうございました。ご多用中にもかかわらず、多くの皆様にご回答いただきましたこと、心より感謝申し上げます。結果につきましては、今回の学校だよりにてご報告いたしますので、ぜひご覧ください。

さて、今年度は2回オリンピック・パラリンピックが開催されます。新型コロナウイルスの影響で夏のオリンピックが一年延期したため、冬のオリンピックと同年度の開催となりました。夏のオリンピックでの選手たちの姿に感動と勇気を与えられたことは、まだ記憶に新しいと思います。

コロナ禍ということで、生活のいろいろな事に制限がかかっています。これまで気にしなかったようなことも、感染予防ということで気を使って生活をしています。私自身も、窮屈さを感じながらの生活に対して、少なからずストレスを感じることがあります。そのような時だからこそ、生活の中に制限があっても、一心に競技に打ち込む選手たちの姿に、いつも以上の感動を覚え、そして勇気を貰えるのかもしれない。

同じようなことが、平安小学校でもありました。12月に、平安小マーチングバンドが参加した全国大会とスーパーマーチングを、会場で参観させていただく機会がありました。暑い夏の日も、風の吹く日も、校内と校庭を使って必死に練習している姿を知っていましたので、唯々、自分たちの満足できる演奏をしてほしいと思っていました。子ども達は、観客とたくさんのマーチングバンドが参加する中、大変な緊張をしたと思います。しかし、僅か数分の演奏時間に、練習したことすべてが込められた素晴らしい演奏と動きを見せてくれました。大変感動させていただきました。そして、自分も負けずに頑張りたいと思いました。

まだまだ、感染対策を講じながらの日々が続くことと思います。しかし、生活の中にある「感動」を心の栄養にして、これからも日々過ごしていきたいと思っています。